



Brush up Program
for professional
文部科学省「職業実践力育成プログラム」(BP)

食と農のビジネス塾

平成29年度募集要項



地域定住農業者育成コンソーシアム

食と農のビジネス塾 平成29年度募集要項

I. はじめに

地域定住農業者育成コンソーシアムは農業を志す若手農業者に対し、自立（経営感覚の優れた担い手）に向け、①研修指導、②農産物販売支援、③住宅・生活支援、④農地支援、⑤就農・自立化相談などの総合的な機能で支援し、地域定住に繋げ、農業の発展と地域経済の振興を図ることを目的に、平成28年4月に発足しました。

優れた経営感覚と販売ノウハウを養成するために、山形大学農学部で「食と農のビジネス塾」を開講します。

基礎、経営、加工、販売、農業技術、ビジネス計画書作成の6つの科目について、視察、実習38.5時間を含む166.5時間のコースで体系的に学んで頂きます。

本募集要項では、「食と農のビジネス塾」受講生を以下の要領で募集します。

※平成28年12月に文部科学省「職業実践力育成プログラム」(BP)に認定されています。

社会人の職業に必要な能力の向上を図る機会の拡大を目的として、大学等における社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的なプログラムを文部科学大臣が認定する制度です。

II. 募集について

1. 募集対象者

鶴岡市内及び市外に居住する下記の者

- ①食、農でビジネスを行おうとする者、行っている者
- ②食、農のビジネスを支援している者、支援しようとしている者
- ③食、農のビジネスに協力している者、協力しようとしている者

2. 募集定員（定員を超える応募があった場合には選考を行います）

30名

3. 応募資格

大学に入学することができる資格を有すること

※学校教育法第90条で規定される「高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者…（中略）…これと同等以上の学力があると認められた者とする。」

4. 受講料

30,000円／1年（分割納付も可能です。）

※ただし、現地研修等の参加費は別途個人負担となります。

農業生産等による収入のない場合には受講料を免除することがあります。

Ⅲ. 応募手続

1. 募集期間

平成29年3月1日（木）～4月4日（水）

2. 応募方法

（1）応募書類の入手方法

本要項5～6ページにあります。

（2）応募書類の提出方法

必要事項を記載済みの入学申込書を下記に郵送するか、持参してください。郵送の際、封筒の表に「入学申込書在中」と朱書きしてください。

3. 応募書類

①入学申込書 写真1枚（縦4cm×横3cm程度）を貼付してください。

学歴は中学校卒業から記入してください。

②受講希望理由書 A4用紙1頁以内

4. 応募書類の提出先・問合せ先

〒997-8555 鶴岡市若葉町1-23 山形大学農学部内

地域定住農業者育成コンソーシアム事務局

TEL：070-2011-5615 FAX：0235-28-2944

E-mail：youngf.sp2016@gmail.com

5. 応募上の留意点

（1）郵送の際、封筒の表に「入学申込書在中」と朱書きしてください。

（2）応募書類の不備なものは受けられませんので、記載には十分留意ください。

（3）虚偽の記載があったものは、入学許可を取り消す場合があります。

6. 選抜方法

受講者の選抜は、受講資格を満たしているかを確認の上、決定します。定員を超える応募があった場合は書類選考します。

7. 発表

平成29年4月10日頃に本人に通知（文書発送）します。

IV. カリキュラム・修了要件

1. 開講式 平成29年4月25日（火）9：30

2. 開講期間・授業時間・開講場所

開講期間 平成29年4月25日（火）～平成30年2月2日（金）

授業時間 （4～9月）火曜日13：00～16：40

（10～2月）金曜日10：30～16：40

※週によって開講日、時間帯が変わることがあります。

カリキュラムの概要は別紙で確認してください。

開講場所 山形大学農学部講義室（鶴岡市若葉町1-23）

（施設整備工事があるため、今年度農場での講義はありません）

3. 修了要件

教育プログラムを120時間以上履修し、かつ作成したビジネス計画書が評価委員会から合格の評価を得ること。

※やむを得ず欠席した場合にはDVD受講を30時間まで認めます。

V. その他

1. 修了証明について

所定の修了要件を満たした方には、山形大学が学校教育法第105条に基づき履修証明書を授与します。

2. 個人情報の取り扱いについて

応募に際しご記入頂いた個人情報は、受講申請の確認、連絡、名簿作成、受講者の統計以外の目的に使用いたしません。

3. 問合せ先

地域定住農業者育成コンソーシアム事務局

〒997-8555 鶴岡市若葉町1-23 山形大学農学部内

TEL : 070-2011-5615 FAX : 0235-28-2944

E-mail : youngf.sp2016@gmail.com

受付時間 : 9 : 00 ~ 16 : 30

(※土日・祝祭日の受付は行いませんのでご注意ください)

平成 年 月 日

受付番号
※事務局記載

平成29年度 食と農のビジネス塾 入学申込書

ふりがな		写 真	(4cm × 3cm)
氏名			
性別	男・女		
生年月日	昭和・平成 年 月 日 (歳)		

連絡先 (自宅)	〒		
TEL		携帯電話	
FAX		E-mail	
緊急連絡先氏名・電話番号			

学 歴	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	

平成29年度 食と農のビジネス塾 カリキュラム、科目の概要

No.	日時	科目	概要	時間
1	4月25日(火) 9:30~10:30	開校式		
	11:00~12:30	オリエンテーション 食と農のビジネスの意義と役割・研修の狙い	現在の農業や農産物流通の現状を踏まえ、食と農のビジネスに取り組む意義と役割について学ぶとともに、研修のねらいを紹介し、受講者の動機付けを促進する。	1.5
	13:30~16:40 (一般公開講座)	食と農のビジネス～今農業者が目指すもの、求められるもの～	食育、食農教育が語られ、都市農村交流が注目され、和食が世界無形遺産となるなど、食と農は強く消費者・国民に意識されている中、著名な有識者から食と農のビジネス、農業者が目指すべきもの、求められるものを学ぶ。	3
2	5月2日(火) 13:30~16:40	ビジネス塾参加 私の狙い (ワークショップ)	受講者本人から参加のねらいを報告してもらい、受講者間の議論や講師陣からのアドバイスによって、受講者の意識の明確化を図る。	3
3	5月9日(火) 13:30~16:40	農業の経営戦略	必要な経営資源(ヒト・モノ・カネ)を調達して効率的に運用する枠組みについて、特に社内外におけるパートナーシップ構築の重要性とその方法論を学ぶ。	3
4	5月16日(火) 13:30~16:40	フードシステム	食と農の生産から消費までの流れを、川上の農林水産業、川中の食品製造業、川下の食品小売業・外食産業を経て最終の消費者の食生活に至る総合的なシステムとして把握する。	3
5	5月23日(火) 13:30~16:40	マーケティング	食と農に関するさまざまなマーケティング活動をグローバル・ローカルの両視点から論理的かつ実践的に学ぶ。	3
6	5月30日(火) 13:30~16:40	ケースメソッド(食と農のビジネス・ケースの解説)	実際に展開されている食と農のビジネスの事業創出の場面において、思考力、判断力、戦略代替案の設定と評価による最適な解決方法を決定する方法を身につける。	3
7	6月6日(火),7日 (水)(宿泊研修)	農場(企業)実習 【視察研修】	農林漁業の高付加価値化のためになぜ食と農のビジネスが必要なのかを自らの地域の問題として理解するため、先進事例の視察を行う。	12

平成29年度 食と農のビジネス塾 カリキュラム、科目の概要

No.	日時	科目	概要	時間
8	6月13日(火) 13:30~16:40	グループワーク(視察研修を受けて)	視察を行った農場(企業)の特色や課題について、ディスカッションを行うことにより、自身の経営課題に対する対応力を習得する。	3
9	6月20日(火) 13:30~16:40	ビジネス計画書作成(1)	ビジネスプラン(計画書)作成のためのポイントを学ぶとともに、個々人で作成開始する。	3
10	6月27日(火) 13:30~16:40	食と農のビジネス 実践者は今	食と農のビジネスを実践している3名の経営者による経験談を通じ、経営戦略の多様な考えを学ぶとともに、意思決定スキル、農業経営管理の知識を経営実情に即して習得する。	3
11	7月4日(火) 13:30~16:40	ビジネス計画書作成(2)	個々人でプランの作成を行い、全体像を確認する。	3
12	7月11日(火) 13:30~16:40	食と農のブランディング	食と農のブランディングと、そのブランドに最適な市場の求めるパッケージについて学ぶ。	3
13	7月18日(火) 13:30~16:40 (一般公開講座)	農村自給圏ースマート・テロワールーを目指して	食料の供給過剰時代における農業・農村のあり方としての農村自給圏ースマート・テロワールー構想を学ぶ。	3
14	7月25日(火) 8:30~11:30	食と農のビジネス 取り組む農業経営者の今(視察研修)	食と農のビジネスに取り組む農業経営を訪問し、その取り組みを学ぶとともに、施設等を視察する。	3
15	8月1日(火) 13:30~16:40	販売力強化講座(1)	農業者が自らの生産物を販売する実践力を身につけるため、バイヤー等が求める農産物・加工品、商品カルテの作成方法などについて学ぶ。	3
16	8月8日(火) 13:30~15:00	「食産業王国やまがた」実現に向けた取組み・支援策	経営の拡大・高度化に向け、国・県の各種支援施策、食品加工技術相談窓口、総合化計画の策定手順等について学ぶ。	1.5
	15:10~16:40	産業支援機関による支援策とその活用	農産物生産グループなどによる企業組合の設立実務や運営・活用方法、各産業支援機関による支援策等について学ぶ。	1.5

平成29年度 食と農のビジネス塾 カリキュラム、科目の概要

No.	日時	科目	概要	時間
17	8月22日(火) 13:30~16:40	経営設計－作物の組合せ、労働配分－	労働、土地の制約の中で最適な作物の組合せの方法について学ぶ。	3
18	8月30日(水) 13:30~16:40	食品加工場開設の実際	新たに加工所を開設する場合の留意点や、保健所等への法的な手続きのポイントについて学ぶ。	3
19	9月6日(水) 13:30~16:40	食品加工と衛生管理－基礎－	食品加工プロセスにおける衛生管理について理解し、その衛生管理方法について学ぶ。	3
20	9月12日(火) 13:30~16:40	食品加工と衛生管理－実践－ 【視察研修】	食品加工プロセスにおける衛生管理について、食品加工場等の施設を視察し、その現場を肌で感じると共に、管理技術などの解説を聞く。	3
21	9月19日(火) 13:30~16:40 (一般公開講座)	フード・コミュニケーション・プロジェクト	消費者の「食」に対する信頼向上のために重要な項目を整理し、消費者の食に対する信頼を高める。また、企業と商品価値を向上させるヒントを売ると同時に、それらを正確に伝えるためのコミュニケーション力を向上させる。	3
22	9月26日(火) 13:30~16:40	販売力強化講座(2)	つるおか大産業まつり2017での出店に向けて、商品の作り方等について学び、準備を行う。	3
23	10月6日(金) 13:30~16:40	販売力強化講座(3)	つるおか大産業まつり2017での出店準備を行う。	3
24	10月14日(土), 15日(日)	販売実習	鶴岡大産業まつりで、農産物販売、加工品販売の体験をするとともに、他の販売者の販売活動を視察し、販売方法について学ぶ。	12
25	10月20日(金) 11:00~12:30	農地情報と市町村支援策	農地情報と市町村の支援策について学ぶ。	1.5
	13:30~16:40	販売力強化講座(4)	つるおか大産業まつり2017での出店の成果を踏まえ、成果、課題について学ぶ。	3

平成29年度 食と農のビジネス塾 カリキュラム、科目の概要

No.	日時	科目	概要	時間
26	10月27日(金) 11:00~12:30	稲作の栽培管理	稲作の栽培技術を学ぶ。	1.5
	13:30~16:40 (一般公開講座)	庄内の在来作物	庄内の在来作物について学ぶ。	3
27	11月2日(木) 11:00~12:30	農産物の保存	フードシステムの高度化に伴って開発・導入が進められている保存技術について学ぶ。	1.5
	13:30~16:40	財務管理の必要性和複式簿記	多様な入出金の管理の重要性とそのための複式簿記について学ぶ。	3
28	11月10日(金) 11:00~12:30	野菜の栽培管理	野菜の栽培技術を学ぶ。	1.5
	13:30~16:40	財務管理 -基礎-	経営管理や意思決定に関連付けた会計情報の分析及び活用の実践的手法について学び、経営分析の読み方、活かし方を学ぶ。	3
29	11月17日(金) 11:00~12:30	果樹の栽培管理	果樹の栽培技術を学ぶ。	1.5
	13:30~16:40	財務管理 -実践-	経営管理や意思決定に関連付けた会計情報の分析及び活用の実践的手法について学び、経営分析の読み方、活かし方を学ぶ。	3
30	11月24日(金) 11:00~11:30	ホスピタリティ・マネジメント事前学習	ホスピタリティ・マネジメントについて事前学習する。	0.5
	11:30~15:00	ホスピタリティ・マネジメントの実際 【視察研修】	農林漁業や農山漁村の持つサービスの価値に着目した新事業創出について理解するとともに、ホスピタリティ(おもてなしの心)をベースとした農家レストランのマネジメントの実践を学ぶ。	2.5
	15:10~16:40	ホスピタリティ・マネジメントの検証	視察研修したホスピタリティ・マネジメントの事例について議論し、あり方を学ぶ。	1.5

平成29年度 食と農のビジネス塾 カリキュラム、科目の概要

No.	日時	科目	概要	時間
31	12月1日(金) 11:00~12:30	畜産の実態	畜産の基礎知識、家畜の育種、繁殖、飼養、畜産物利用、畜産の安全・安心などを学ぶ。	1.5
	13:30~16:40	ICT活用による販売戦略	ユビキタス社会における情報発信と、地域の観光や地場産農産物の流通・販売等の場面での、情報システムの活用について学ぶ。	3
32	12月8日(金) 11:00~12:30	財務会計、資金計画の作り方	経営管理や意思決定に関連付けた会計情報の分析及び活用の実践的手法について学び、経営分析の読み方、活かし方を学ぶ。	1.5
	13:30~16:40 (一般公開講座)	やまがた食と農のビジネスの戦略的販路開拓(仮題)	農産物及び加工食品の流通実態やブランド力、販路開拓・拡大に必要なマーケティングの観点、商談会成功のテクニック等について学ぶ。	3
33	12月15日(金) 9:20~12:30	販売力強化講座(5)	スーパーマーケットにおける農産物販売、インショップについて学ぶとともに、消費者目線での評価について議論する。	3
	13:30~16:40	ビジネス計画書作成(3)	個々人でプランの作成を行い、全体像を確認する。	3
34	12月22日(金) 9:20~16:40	ビジネス計画書中間発表会 (意見交換会)	個々人で作成したプランについて意見交換し、全体像を確認する。	6
35	1月12日(金) 11:00~12:30	物質・エネルギー利用型地域資源利用論	農林漁業・農村の資源から生産される物質・エネルギー利用の具体的事例や産業としてのポテンシャル(バイオマス利用や医薬品や工業製品の原料としての利用など)が進められていることを学ぶ。	1.5
	13:30~16:40	ビジネス計画書作成(4)	事業構想のブラッシュアップ、事業計画作成の課題整理を行う。	3
36	1月19日(金) 13:30~16:40	ビジネス計画書作成(5)	個々人で作成したプランについて、グル-ワークで意見交換し、全体像を確認する。	3
37	1月26日(金) 9:20~16:40	ビジネス計画書発表会	各人が作成したビジネスプラン(計画書)を発表し合い、意見交換を行う。	6

平成29年度 食と農のビジネス塾 カリキュラム、科目の概要

No.	日時	科目	概要	時間
38	2月2日(金) 13:00~14:30	ビジネス計画書優秀者報告会	ビジネスプラン(計画書)優秀者による報告会を行う。	1.5
	15:00~16:00	修了式		
OP	2日間	販売実習	販売イベントへの参加実習を通じ、実売体験及び消費者ニーズ把握の重要性を学ぶ。	12
総時間数				166.5